

令和5年度
尾花沢市議会だより
編集委員会
報告書

令和5年度議会だより編集委員会行政調査 復命報告書

令和5年12月4日

議会だより編集委員長 土屋 範晃

日 程：令和5年11月6日（月）～7日（火）

調 査 先：（1）岩手県岩泉町議会、（2）宮城県柴田町議会

参 加 者：下記の通り

職 名	氏 名
議会だより編集委員会 委員長	土屋 範晃（つちや のりあき）
議会だより編集委員会 副委員長	畑中 和恵（はたなか かずえ）
議会だより編集委員会 委 員	伊藤 浩（いとう ひろし）
〃	鈴木 清（すずき きよし）
〃	和田 哲（わだ さとし）
〃	菅藤 昌己（かんとう まさき）
〃	高橋 隆雄（たかはし たかお）
議会事務局 庶務・議事係	加賀 孝一（かが こういち）

【所感】

全国町村議会広報コンクールで高い評価を受けている2自治体の議会だよりを調査した。2自治体に共通している点として、常任委員会として編集・作成を行っている点、これまでの議会だよりのノウハウの蓄積によって編集方針が確立されている点、当選回数若い議員が委員になっている点、研修や講師による指導を受けている点などがあった。

編集委員の広報誌作成に望む熱意もさることながら、編集方針やレイアウトのイメージが確立されている点が、「読みたくなる、分かり易い議会だより」の作成に必要であると印象を受けた。特に、Z型に視線誘導する一般質問のレイアウトや、まち（町民）の声を盛り込んだ記事作り、発行に至るまでの具体的な会議スケジュールについては大変興味深く、参考になると感じた。

この度、本市の行政視察を快くお受けいただき、準備から当日の研修まで懇切丁寧にご対応いただいた2自治体に心より感謝を申し上げます。今回調査で学んだことを大いに活用し、本市議会だよりがますます市民にとって「読みたくなる、分かり易い議会だより」に変わったと感じてもらえるように努めてまいります。

※ 次項より行政調査先における研修内容の概要

(1) 岩手県岩泉町

日 時：令和5年11月6日（月） 13:00～15:00

場 所：岩泉町役場本庁舎 大会議室

調査事項：議会の広報公聴活動について

対 応 者：以下の通り。

職 名	氏 名
広報公聴常任委員長	千葉 泰彦
広報公聴常任副委員長	佐藤 安美
広報公聴常任委員	八重樫 龍介
〃	畠山 和英
議会事務局長	中川原 克彦
議会事務局主査	石垣 直美



【研修の概要】

1. 議会広報誌の発行状況

昭和48年創刊。令和5年10月27日時点で第204号。各号4,600部。

2. 予算及び規格など

令和5年度予算：2,259千円（印刷製本費1,807千円、その他452千円）

規格：A4版 表紙と最終面は4色カラー、その他2色刷り

3. 広報公聴常任委員会の経過

平成2年 広報編集委員会を設置（編集委員と事務局による共同編集）

平成26年 議員がメインとなって取材から編集作業を行う。

平成28年 広報公聴常任委員会を設置。

4. 広報公聴常任委員会の構成

6名の議員で構成。任期は4年間。

5. 編集方針 ～町民参加で読みやすい議会だよりを目指して～

《3つの編集方針》

①町民参加の紙面づくり	町民の「まちの声」を多く掲載する。
②読みやすい紙面づくり	記者ハンドブックを活用した用字・用語選定。
③見出しで分かる紙面づくり	問・答は文字数をそろえ12字以内。記事との連動。

《編集方法》

①スピード発行	定例会終了後、30日程度で発行を目指す。
②写真の活用	1つの記事に1枚以上使用し、キャプションをつける。
③QRコードの活用	HP 充実に努め、紙面で伝えきれない事項はQRで誘導。
④一般質問	2人1ページ。300字程度で要約。一般質問終了後1週間以内に原稿提出。
⑤編集後記	委員が順番に担当する
⑥委員の責務	取材・撮影・記事作成。
⑦特集記事	町民を巻き込んだ特集記事を年1回は掲載する。
⑧シリーズ化	表紙や各種コーナーはシリーズ化すること。
⑨事務局との連携	レイアウト、定例記事は事務局が立案し、委員会が決定。

6. 広報の構成と主な内容（第201号より）

ページ数	内 容
1（表紙）	「キラッと光る人」シリーズ
2～3	特集記事（「追跡・どうなりゃんした…あの提言」「公共交通を考える」）
4～5	定例会のあらまし（写真やグラフを多用）
6～9	特別委員会の内容
10～15	一般質問（2人1ページ、議員の気持ち「17文字のひとりごと」を掲載。）
16～17	常任委員会レポート・追加記事
18～19	シリーズ記事
20	傍聴の声・お知らせ・編集後記

7. 編集スケジュール（常任委員会の開催）

① 定例会前に1回。定例会中に1～2回。発行までのスケジュールを決定。
② 定例会終了後、掲載ネタの洗い出し。
③ 定例会終了後の概ね10日後を原稿、写真の提出期限とし、印刷会社へ入稿。
④ 初稿到着後、校正作業。
⑤ 再校正
⑥ 発行（4月、7月、10月、1月）

8. 広報コンクール入賞歴

- ★ 議会広報全国コンクール 最優秀賞3回（H6, H16, R3）、その他入賞18回
- ☆ 県町村議会広報コンクール 特選11回、入選13回

【質疑応答の様子（抜粋）】

質問者	質問と回答内容・感想について
鈴木 清	<p>Q1. 「まちの声」に見合った写真が素晴らしい。反応は？</p> <p>A1. 顔写真に名前も掲載したことが評価された。</p> <p>Q2. 見出し調の目次の工夫点は？</p> <p>A2. 研修にも参加した。どこを見てもらいたいか分かるようにした。</p> <p>Q3. 一般質問のレイアウトの工夫とZ方式の視線誘導について。</p> <p>A3. 一目で違う話題と分かる。視線の動きに適している。 タイトルが短く、記事を読まなくとも分かる。</p>
伊藤 浩	<p>感想：「まちの声」が素晴らしく、読んでもらえる気遣いを感じる。</p> <p>Q1. 一般質問の原稿について、議員から来た原稿を戻すこともあったか？</p> <p>A1. 内容的に「これは？」と思うものは、議員の了承を得て修正している。</p>
和田 哲	<p>Q1. 製本方法について、綴り穴はあけているか？</p> <p>A1. R4まであけていた。行政広報に綴り穴がなく、合わせて無くした。</p> <p>Q2. 作業におけるタブレットの活用状況は？</p> <p>A2. 担当の連絡、記事の共有など、フル活用している。</p> <p>Q3. 今年度から本市に「広聴」の委員会ができた。注意すべき点は？</p> <p>A3. 委員会は1つがいいと考える。 町議会だよりも広聴機能を取り入れて作っている。 (町民の声を聴く → 記事にする → 広報する)</p>
菅藤昌己	<p>Q1. 表紙の写真が素晴らしい。カメラの性能より技術によるものと思った。 使用しているカメラや写真を撮る枚数は？</p> <p>A1. 役場の職員で写真が好きな人がおり撮影してもらった。 これも研修を受けた際の講師のアドバイスである。 そのことに気づいたことはすごい。</p> <p>Q2. 「広報クリニック」とは？</p> <p>A2. 全国の研修を行う機関に必ずお願いしている。</p> <p>Q3. 「小学校5年生が分かる」というコンセプトについて。 小中学生も読んでいるのか？</p> <p>A3. 現状は「出たよ」くらい。購読まではできない。</p> <p>Q4. 「17文字のひとり言」はそのまま掲載している？</p> <p>A4. そのまま載せるが、「さすがに…」と思うものは修正している。</p>
畑中和恵	<p>Q1. 編集委員会の開催時間はどのくらい？</p> <p>A1. 通常1時間で初稿の校正は2時間程度。あとは各自家で作業している。 「まちの声」のターゲット選定に時間がかかる。</p>
高橋隆雄	<p>感想：研修にたいへん配慮が行き届いており、感謝申し上げます。</p>

(2) 宮城県柴田町

日 時：令和5年11月7日(月) 13:30~15:00

場 所：宮城県柴田町役場 議会委員会室

調査事項：議会広報誌の編集等について

対 応 者：以下の通り。

職 名	氏 名
議長	高橋 たい子
議会広報常任委員長	加藤 滋
議会広報常任副委員長	平間 幸弘
議会広報常任委員	石森 靖明
〃	伊東 潤
〃	吉田 清
〃	小田部 峰之
〃	平間 奈緒美
議会事務局次長	高木 信孝



【研修の概要】

1. 柴田町議会だよりの概要

A4版、平15級ゴシック体を基本。全ページカラー印刷。綴り用穴あけ、中綴じ。

《 変 遷 》

昭和53年	創刊。(令和5年11月1日現在第182号)
平成 7年	A4版へ変更。
平成 9年	議員編集に変更。
平成13年	全ページをカラー刷りに変更。
令和 2年	ユニバーサルデザインの採用。

《 発行回数 》 定例会ごとに年4回(5月、8月、11月、2月)

《 発行実績 》 (直近3回を抜粋)

号数	頁数	部数	金額(円)	単価(円)	備考
第179号	16	16,550	768,251	46.5	
第180号	20	16,600	1,209,542	72.9	資材高騰
第181号	16	16,600	1,007,952	60.7	

2. 編集方針（要約）

①基本姿勢	読みやすい議会だよりを目指し編集する。
②町民参加型	テーマを作り、町民参加を心がける。 予算、決算、重要案件には、議会と町民の視点を掲載。
③政策サイクル	年間の議会の流れと政策サイクルを意識。
④優先順位	審議の経過と結果を伝え、町民の関心度を優先する。
⑤言葉で伝える	簡潔な表現、読みやすい文体で統一。 行政用語には注釈もつける。 見出しは大きく、簡潔で、インパクトのある表現。
⑥写真で伝える	1ページ1枚以上。キャプションは伝える内容を端的に。 QRコードの活用。写真は動きのあるものにする。
⑦一般質問、総括質疑など	議員が作成し、内容は簡潔に。

3. 編集体制

- (1) 広報常任委員会（平成23年から常任委員会化） 定数7名、任期2年。
- (2) 企画会議（定例会の最終日まで実施）
- (3) 編集会議（企画会議に方針を受け、編集内容を決定し、原稿作成。校正。）
- (4) 編集担当（総括：正副委員長、原稿：全員、写真：専任1名、庶務：事務局1名）

4. 編集にあたっての基本的事項

(1) 主な掲載記事

1. 表紙（表紙写真、見出し）
2. 議案審議（議案説明、審議結果、質疑応答等）
3. 討論
4. 審議結果、出席結果
5. 総括質疑（予算・決算時）
6. 予算・決算特別委員会の質疑・答弁（予算、決算時）
7. 一般質問（1ページ3名）
8. 常任委員会レポート（常任委員会の所管事務調査の結果報告）
9. サークル紹介
10. 編集後記

(2) 原稿の執筆者・ルール等について

一般質問	質問1つを選び14字×24行(336字)以内にまとめる。 その他の質問は、要旨を15字以内に要約。
討論	要旨を11字×9行(99字)以内に要約。
総括質疑	15字×26行(390字)以内に要約。
サークル紹介	紹介するサークルの選定等(記事・写真)は委員が輪番制で担当。
編集後記	委員が輪番制で作成。
その他の原稿	企画会議で担当を割り当て。

(3) 紙面で使う写真について

- ・一般質問は、原稿作成者による提出、委員会による撮影、編集担当委員の指定など。
- ・撮影は写真担当委員が行い、掲載写真は委員会で協議し決定。
- ・事務局は撮影先との連絡調整、進行管理を実施。
- ・肖像権は事前に承諾(未成年者は保護者から)を得る。

(4) 校正の方法、回数等について

- ・印刷業者からゲラの納品後、各委員のタブレットに価格の牛、編集会議前に必ず目を通す。
- ・初校は全委員で1日かけて校正を行う。2校(最終校正)は印刷業者の向上に出向き実施。

(5) 事務局職員の関わり

- ・一般質問の原稿依頼、とりまとめ
- ・写真撮影先との連絡調整
- ・印刷業者へ出稿前の仮校正
- ・印刷業者との原稿受け渡しや連絡調整
- ・その他補助業務全般

5. 視察研修について

- ① 平成19年から隔年1回実施。費用は1名あたり5万円以内。
- ② 全国町村議会議長会主催の議会広報研修会と先進市町村議会への視察を交互に実施。

平成24年度	岩手県雫石町議会、柴波町議会
平成25年度	全国町村議会議長会主催の議会広報研修会
平成27年度	山形県庄内町議会、大石田町議会
平成29年度	全国町村議会議長会主催の議会広報研修会
令和元年度	埼玉県寄居町議会、小川町議会
令和3年度	新型コロナウイルス感染症対策で実施せず。
令和4年度	北海道伊達市議会(オンライン実施)

【質疑応答の様子（抜粋）】

質問者	質問内容と回答・感想について
伊藤 浩	<p>Q 1. 一般質問のレイアウトが1ページ3人であるが議員から異論は？</p> <p>A 1. 特に反論はなかった。QR コードからの動画を見ることができる。</p> <p>Q 2. 町民の関心の高さを把握する仕組みはあるか？</p> <p>A 2. 現在はない。モニター制度は検討中。 記事掲載の優先度は企画会議で決定する。</p>
畑中和恵	<p>Q 1. 写真は子どもを中心に掲載しているのか？</p> <p>A 1. 子どもを中心にしている。読者からの反応が良い。</p> <p>Q 2. Facebook や Instagram もあるのか？</p> <p>A 2. ある。事務局が記事を作っている。</p>
和田 哲	<p>Q 1. 特別委員会など議事録が完成していないメモ書きの状態の記事を作るときの編集方法は？</p> <p>A 1. ①集まって協議し、1日ごとに良い質疑の候補を挙げていく。 ②議事録後に答弁を確認。③編集担当が写真を入れるものを決める。 ④写真担当が写真を撮りに行く。</p>
鈴木 清	<p>Q 1. 表紙の写真について</p> <p>A 1. テーマを決めている。タブレットで共有し、これに決まった。</p> <p>Q 2. 表紙の見出しについて</p> <p>A 2. ページ表記に関する指摘は頂く。講師によって意見は様々だが、執行部と違う視点から作成するようにしている。</p>
菅藤昌己	<p>Q 1. 写真の肖像権や吹き出しに関する許可は？</p> <p>A 1. 事務局が撮影許可や肖像権の確認をとっている。吹き出しはない。</p>
高橋隆雄	<p>Q 1. 決算を家計簿に見立てた記事について町民からの反応は？</p> <p>A 1. 見やすいという好意見を頂いている。</p>

以 上